



パキスタン

カスール～7世帯比較～

- 調査実施：2013年12月～2014年3月
- 調査場所：パキスタン パンジャブ州 カスール市 ジャムバーカラン村
- 調査対象：7家族(家族とその構成を参照)
- 換算レート：1円≒1.04パキスタン・ルピー(2014年3月現在)



家族とその構成

家族構造が一番シンプルな家庭はアーメド家とムハンマド家の3人、家族数が最も多い家庭はチョウハン家の11人であった。ラムザン家とムハンマド家以外、親ないし兄弟と同居している。ウスマン・アリ家は、戸主の弟が2人いて、一人は軍人で定期的に家に帰ってくる。一人はドバイで労働者として働いており、家族に仕送りをしている。

(A)アーメドさん 29歳 食料品店経営(14時間)			(B)ラムザンさん 45歳 大工(9時間)			(C)ハローン・アリさん 56歳 公務員(9時間)		
父	59歳	退職者	妻	38歳	専業主婦	母	75歳	無職
母	50歳	専業主婦	長男	8歳	中学生	妻	49歳	専業主婦
			次男	4歳		長男	27歳	教師
						次男	19歳	学生
						三男	14歳	学生
						妹	22歳	無職

(D)チョーハンさん 48歳 公務員(8時間)			(E)スハイルさん 35歳 農業(13時間)			(F)ムハンマドさん 55歳 工場労働者(8時間)			(G)ウスマン・アリさん 45歳 工場労働者(10時間)		
妻	46歳	専業主婦	父	60歳	無職	妻	48歳	専業主婦	父	75歳	退職者
妹	40歳	無職	母	56歳	無職	長女	22歳	無職	妻	37歳	専業主婦
長女	24歳	教師	妻	29歳	専業主婦				弟	32歳	軍人
長男	22歳	事務員							長女	18歳	学生
次男	20歳	学生							長男	10歳	中学生
次女	19歳	学生							(弟)	(34歳)	(海外在住)
三男	17歳	学生									
三女	15歳	学生									
四女	12歳	中学生									
五女	8歳	小学生									

注：(時間)は一日の勤務(就業)時間。

戸主の職業と勤務時間

戸主の職業は、公務員と工場労働者が2人ずつで、他は店舗経営、大工、農業を営んでいる。勤務・就労時間はアーメドさん、スハイルさん、ウスマン・アリさんが一日10時間を超え、他は8～9時間となっている。

家計収支

月間収入

世帯収入が一番多いのは農業を営むスハイル家の55,000ルピー、一番少ないのは店舗を営むアーメド家の12,000ルピーだが、アーメド家では自作した収穫物の一部を食材に当てているため、名目上の収入が12,000ルピーより多いといえる。ウスマン・アリ家では、弟からの送金が家計に大きく貢献している。

月間支出

月間支出は7,000～28,000ルピーの間に分布している。支出の多い家庭と少ない家庭の支出構造を比較するとグラフのとおり。

最も多い家庭はウスマン・アリ家、最も少ない家庭はスハイル家だが、ウスマン・アリ家では父親の医療費が大きく、スハイル家では農業に従事していることから食費の支出が不要であり、両家とも構造が特異なため、それぞれ二番目の家庭を比較する。

食費:

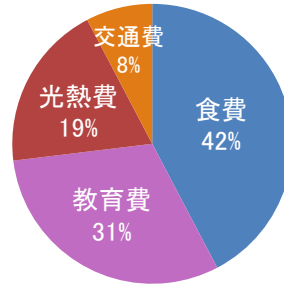
各家庭において正確な全体の支出・収入が把握

されていない。そのため、正確なエンゲル係数は算出できないが、各家庭ごとに把握できる限りの収入で食費を割って見ると、ウスマン・アリ家が20%と最も少なく、アーメド家が58%で最も高い。家族一人当たりの食費をみると、11人と人数の多いチョーハン家が1,000ルピーで最も低額であり、アーメド家が2,333ルピーと最も高い。アーメド家は、家族数が3人でムハンマド家と同人数だが、世帯収入が半分以下でありながら一人当たり食費はムハンマド家よりも高くなっている。スハイル家は、食費がかかっていないため対象外とする。

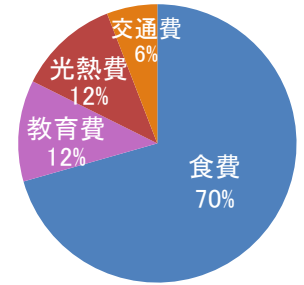
教育費:

学費の支出は、ラムザン家の1,000ルピーからチョーハン家の8,000ルピーの間に分布している。チョーハン家は小中学生各1人と高校(13～14歳)以上の就学者が4人もいて、さすがに支出が多い。ラムザン家の学費が最も少ないのは、小学生一人のためであるが、ハーロン・アリ家(高校生以上2人)とウスマン・アリ家(中学生と高校生以上各1人)を比べると、ウスマン・アリ家が収入が2倍で学費も2倍以上となっている点が注目に値する。

最多支出世帯の内訳(D)



最少支出世帯の内訳(B)



月間家計収支 (単位:ルピー 食費÷収入は%)

	A	B	C	D	E	F	G
収入	12,000	20,000	25,000	40,000	55,000	25,000	50,000
戸主	12,000	20,000	20,000	25,000	55,000	25,000	30,000
長男			5,000	9,000			
長女				6,000			
弟							*1 20,000
支出*2							
食費	7,000	6,000	6,000	11,000	*3 0	6,500	11,000
食費÷収入	58	30	24	28	0	26	20
食費÷人数	2,333	1,500	857	1,000	0	2,167	1,667
教育費		1,000	2,000	8,000			5,000
光熱費	1,000	1,000	1,200	5,000	5,000	3,000	3,000
交通費	700	500	700	2,000	2,000	2,000	2,000
その他							*4 8,000

注:*1; 弟からの送金。*2; 必ずしもすべての支出ではない。*3; 自給自足のため食費はかからない。*4; 父親の医療費。



住居

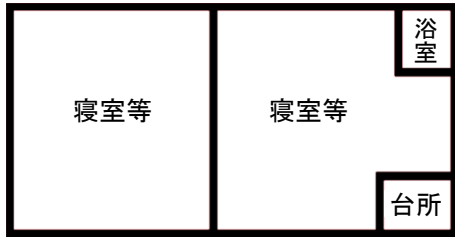
ムハンマド家が51平米と最も狭く、間取り図は無いが、スハイル家が202平米で最も広い。以下に間取り図を掲げた以外では、フセイン家が76平米、スハイル家202平米、ウスマン・アリ家が101平米であった。

(B)
ラムザンさん宅
広さ: 76平米



入口

間取り図

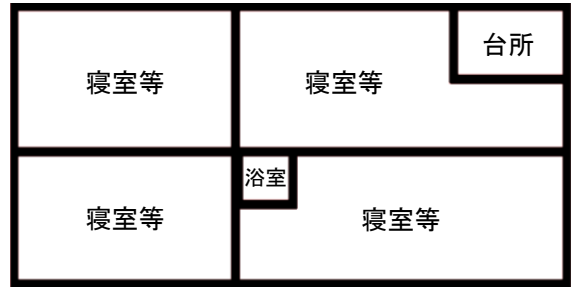


(C)
ハローン・アリさん宅
広さ: 152平米



入口

間取り図

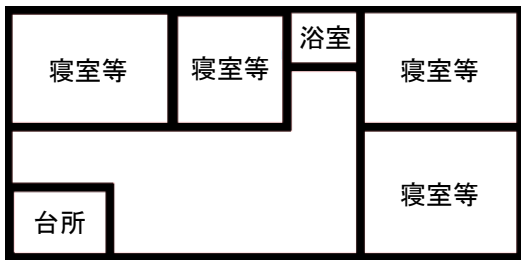


(D)
チョーハンさん宅
広さ: 126平米



台所

間取り図

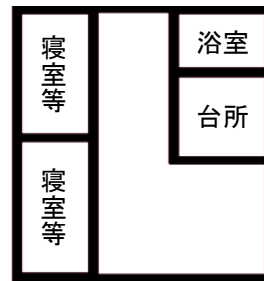


(F)
ムハンマドさん宅
広さ: 51平米



寢室

間取り図



家電製品等

テレビと携帯電話は、全家庭が持っており、冷蔵庫も7家庭中4軒が所有している。他の調査対象国やパキスタンの他の地域では稀であった洗濯機も、3軒が所有している。その他、電子レンジが3軒、バイクが2軒で見られた。



携帯電話(A)



テレビ(B)



洗濯機(D)



冷蔵庫(E)



バイク(F)



電子レンジ(G)



食事

ロティ(平たいパン)、米、ジャガイモ、トマト、玉ねぎ、豆、鶏肉、牛乳、紅茶はすべての家庭で、果物も1家庭を除き食している。その他日本にもある普通の食パンを食する家庭が1軒あった。食材は、生鮮食品は露天の店で、乾物は近くの店で買い、食料品店と農業を営むアーメド家とスハイル家は、殆どを自分の店の品物や自家作物で済ませている。7家庭とも外食をしないと答えている点が特徴的だった。

料理に使用する主な食材と概ねの価格(単位:1kg当たり 価格:ルピー)

食品	価格	A	B	C	D	E	F	G
ロティ		○	○	○	○	○	○	○
米	100	○	○	○	○	○	○	○
食パン						○		
ジャガイモ	40	○	○	○	○	○	○	○
トマト	50	○	○	○	○	○	○	○
玉ねぎ	40	○	○	○	○	○	○	○
豆	150	○	○	○	○	○	○	○
果物	100		○	○	○	○	○	○
鶏肉	200	○	○	○	○	○	○	○
卵		○	○	○	○	○	○	○
食用油	150	○	○	○	○		○	
牛乳	50	○	○	○	○	○	○	○
紅茶	450	○	○	○	○	○	○	○
小麦粉	50	○	○	○	○		○	○

JETRO



時間

一日の過ごし方

店舗経営のアーメドさんと農業を営むスハイルさんは、それぞれ6時、5時と、仕事柄朝が早いですが、その他は7時から8時に起き、8時から9時に出勤している。帰宅も、アーメドさんとスハイルさんが遅い以外、皆夕方5時から6時には帰っている。夕食は概ね8時半から9時半。9時から10時には床に就く。週末は、皆自宅でくつろぐか近くの親戚を訪問。チョーハン家では子供が日曜日に塾に通い、スハイル家の父親は関節炎のため殆ど家で療養しているが、たまに知人宅を訪問して会食している。

各家庭戸主の一日

	A	B	C	D	E	F	G
起床・朝食	06:00	08:00	08:00	07:00	05:00	08:00	07:30
出勤	07:00	09:00	09:00	09:00	06:00	09:00	08:00
帰宅	21:00	18:00	18:00	17:00	20:00	17:00	18:00
夕食	21:30	19:30	20:30	20:30	20:30	21:00	20:30
就寝	22:00	21:00	22:00	21:00	21:00	22:00	21:30

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。